

鳥先生のお話は、具体的で分かりやすく、新しく道徳科の授業を行う上で悩んでいたことにごたえてくれるものでした。

今、本や研修会でいろいろなことが言われ、自分自身どうしたらよいか分からなくなっているところがありました。今日は、とてもすっきりしました。

学校に戻って、他の方々に お伝えたいです。

指導書作成上、大切なこと(目標、プラス志向、子供どしどしが？を解決したいと感じる疑問)、また 評価のしかたや文例など、大変 参考になりました。

ありがとうございました。

3つの資料をみて、中心発問を考えました。その中で、どこがよいか、どこが悪いかに説明していたことが分かることです。どれも考えられような発問でしたが、理由を3つと納得することができました。

また、状況理解レベル、心情読解レベル、さらさらには深く 道徳的価値レベルまで深く掘り下げて、深い学びになることと知り、永くで例えようとして3つの資料のそれぞれについて説明していたことが、大変わかりやすかったです。

どの内容もユモアと楽しさ、具体的にわかりやすく 今日来て良かったと本当に思いました。

道徳性を育てるといふとは子供たちが 道徳的価値について深く学ぶことだと捉えることを学びたい。子供たちには主体的な学びにつながる授業を工夫することが大切で、主体的に学びをつかんでいくためには 考えたい!!と子供が思える発問を時間とかけ考えたいと思いたい。評価についても大変分かりやすく、校内研修の折には

他の教員に伝えたいと思う。

今更、教師主導で何とか議論をさせたり、発言を引き出させるのが頑張っていました。子供主導で、子供が一生けん命に考えたいとするような授業にしていくことが大切なのだと分かりました。

あれじゃべらあ、「君たちすかいい」と子供たちのよすがに「くまん

見つけられるような道徳を考えていこうと思います。



ありがとうございました。